

**製品名: CPSF6 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87746**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP  |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | -  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100,IP 1:10-1:100 |
| 分子量  | Calculated MW:59 kDa; Observed MW:70 kDa   |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | CPSF6                                    |
| 別名           | CFIM; CFIM68; CFIM72; HPBR11-4; HPBR11-7 |
| 遺伝子ID        | 11052                                    |
| SwissProt ID | Q16630                                   |
| 免疫原          | ヒト CPSF6 の合成ペプチド                         |

**背景**

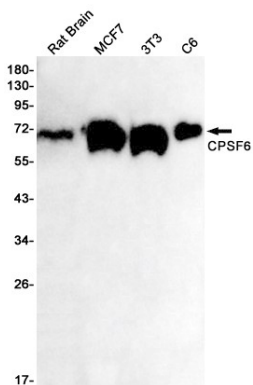
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、3'末端 RNA の切断とポリアデニル化処理に必要な切断因子のサブユニットの一つで

す。このタンパク質と RNA の相互作用は、3'末端プロセシング複合体の形成における最も初期の段階の一つであり、他のプロセシング因子のリクルートメントを促進します。切断因子複合体は 4つのポリペプチドで構成されています。この遺伝子は 68kD のサブユニットをコードしています。このサブユニットは、スプライセオソームタンパク質を想起させるドメイン構成を有しています。  
[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

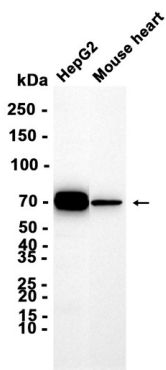
## 研究分野

-

## 画像データ



CPSF6 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳、MCF7、3T3、C6 細胞溶解物中の CPSF6 のウェスタンブロット検出。



AMRe87746 を 1:5000 で使用して、HepG2 細胞およびマウス心臓組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。